

達生堂グループに 48 人が入職

4月1日に合同入職式

城西病院を核にした「達生堂グループ」の平成29年度合同入職式が4月1日、ヒューマンハウス2号棟で行われました。

今年度は医療法人 達生堂 城西病院に26人、社会福祉法人 達生堂「ヒューマンハウス」に8人、「すばる」に8人、そして今年5月に栃木県壬生町にオープンを予定している株式会社 サンライズの「みぶの杜」に6人の計48人が出席しました。

合同入職式で多田正毅理事長は「医療法人や社会福祉法人で達生堂というような名前を付けているところは珍しい」とし、城西病院が江戸時代に幕府の御典医で、内科・産婦人科を営んでいた多田達生堂の流れをくんだ病院の経緯を説明。3月に病院内に発足したDMAT（災害派遣医療チーム）にもふれました。さらに「知識・見識・胆識という言葉があります。知識、見識を備えたうえで、腹を据え行動することが胆識です。行動が一番大切。困った人、弱い人を助けることが大切です」とあいさつした。

新入職者を代表し、城西病院リハビリテーション部の小池和久さんが「学校で基礎的な勉強を積んできたが、実践面では不安を感じています。諸

知識・見識をもつて胆識になれ

先輩方のご指導を受け、一刻も早く戦力となるように努力したい」と力強く決意を述べました。

平成29年4月1日

